



福島県医発第395号（地）

平成26年 5月 7日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

（公 印 省 略）

予防接種法に基づく予防接種に関するリーフレットについて

今般、別添のとおり、厚生労働省により、かかりつけ医療機関で「今日、このワクチン」接種を受ける子どもの保護者が短時間で、改めて理解していただくことを目的に、標記リーフレット作成した旨、厚生労働省健康局結核感染症課より日本医師会を通じて連絡がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会会員に対する周知方ご高配のほどよろしくお願いいたします。

なお、本リーフレットにつきましては、下記の厚生労働省及び公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページに掲載されておりますことを申し添えます。

記

〈厚生労働省ホームページ〉

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-kansenshou/infulenza/kekka-kansenshou20/index.html#hid0

〈公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページ〉

http://www.yoboseshu-rc.com/topics.php?id=1&schemas=type010_1_1&topics=63#id63

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ16)

平成26年4月9日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小 森 貴

予防接種法に基づく予防接種に関するリーフレットについて

今般、厚生労働省により標記リーフレットが作成され、別添の事務連絡が同省より各都道府県等衛生主管部（局）宛なされ、本会に対して周知方依頼がまいりました。

なお、本リーフレットは下記の厚生労働省及び公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページに掲載されております。

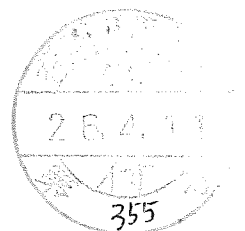
つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会管下郡市区医師会等に対する周知方につきましても、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

<厚生労働省ホームページ>

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou/infuleenza/kekaku-kansenshou20/index.html#hid0

<公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページ>

http://www.yoboseshu-rc.com/topics.php?id=1&schemas=type010_1_1&topics=63#id63



事 務 連 絡
平成 26 年 4 月 4 日

公益社団法人 日本医師会
常任理事 小森 貴 殿

厚生労働省健康局
結核感染症課長

予防接種法に基づく予防接種に関するリーフレットについて

標記について、今般、別添のとおり、都道府県、保健所設置市及び特別区の衛生主管部（局）宛てお知らせしたところであります。

つきましては、本件について御承知いただくとともに、都道府県医師会及び貴会会員に対する周知方御協力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
平成 26 年 4 月 4 日

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局結核感染症課

予防接種法に基づく予防接種に関するリーフレットについて

今般、公益財団法人予防接種リサーチセンターとの協力により、標記リーフレットを作成し、厚生労働省ホームページ及び予防接種リサーチセンターのホームページに掲載いたしました。

本リーフレットは、かかりつけ医療機関で「今日、このワクチン」接種を受けるお子様の保護者の方が短時間で、改めてご理解をしていただくことを目的としております。

つきましては、医療機関や保護者等広く情報提供をしていただきたくお願いいたします。

なお、従前から配布をお願いしている「予防接種と子どもの健康」は、引き続き予防接種についての普及啓発冊子として配布していただきますようよろしくお願いいたします。

(参考)

1 厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/kekaku-kansenshou20/index.html#hid0

2 公益財団法人予防接種リサーチセンターホームページ

http://www.yoboseshu-rc.com/topics.php?id=1&schemas=type010_1_1&topics=63#id63

もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



Hib
ワクチンのはなし

シリーズ のご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうちHibワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



DPT-IPV
ワクチンのはなし



BCG
ワクチンのはなし



MR
ワクチンのはなし



日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

きょう

きょう 予防接種をうける
お子さんと、保護者のみなさまへ

Hib(ヒブ)ワクチンのはなし



ノ ワ ク チ ン

きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#01 Hibワクチンのはなし

Hibワクチンって？

- ◆Hibとはインフルエンザ菌b型のことで、口や鼻などから吸いこむことで感染します。毎年冬に流行するインフルエンザのウイルスと名前がにっていますが、まったく別ものです。
 - ◆Hibに感染すると肺炎、細菌性髄膜炎¹⁾、菌血症²⁾、喉頭蓋炎³⁾などになってしまいます。
 - ◆Hibワクチンを接種することで、体のなかにHibへの抵抗力(免疫)ができます。
 - ◆免疫をつけることで、まわりの人たちに広がるのをふせぐことができます。
 - ◆このワクチンは生後2カ月になってから接種し始めます。
- 1) 細菌性髄膜炎：鼻やのどにいる菌が血液に入り、脳を包んでいる膜に炎症をおこす重い病気です。耳が聞こえにくくなったり、手足が動きにくくなったりといった障害が残ったり、命にかかわることもあります。
- 2) 菌血症：細菌が血液のなかに入って高熱がでたりします。
- 3) 喉頭蓋炎：のどの奥がはれてしまう病気です。空気の通り道がふさがり、息ができなくなってしまうこともあります。
- 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえばかかって、その多くは軽くてすみます。

1

当日は ココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



2

ワクチンを 接種するときの ポイント

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



3

接種後の 注意

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種箇所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種箇所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆Hibワクチンを接種した後、接種箇所が赤くなったり、はれたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
 - ◆ごきげんが悪くなったり、ものを食べなくなったり、熱がでたりすることがあります。
 - ◆きわめてまれにアナフィラキシー⁴⁾、けいれん、血小板減少性紫斑病⁵⁾などの重い病気にかかることがあるともいわれています。
- 4) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。
- 5) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなると、出血しやすくなってしまう。皮膚の下で出血して青あざができたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



ワクチンで
防げる病気も
あるんだ！



もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



Hib
ワクチンのはなし

シリーズ の ご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうち小児の肺炎球菌ワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



DPT-IPV
ワクチンのはなし



BCG
ワクチンのはなし



MR
ワクチンのはなし



日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

キョウコ

きょう 予防接種をうける
お子さんと、保護者のみなさまへ

小児の肺炎球菌ワクチンのはなし



#02

ノ ワ ク チ ン

きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#02 小児の肺炎球菌ワクチンのはなし

わからないことは先生に相談しよう！



- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくと伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



1

当日は
ココをチェック

小児の肺炎球菌ワクチンって？

- ◆ 子どもの多くは鼻やのどに肺炎球菌をもっています。体が弱ったりしたときに、肺炎、細菌性髄膜炎^{さいきんせいずいまくえん}や菌血症^{きんけつしやう}などをひきおこします。
- ◆ 子どもに重い病気をおこしやすい、13種類の肺炎球菌の感染を防ぐのが、小児の肺炎球菌ワクチンです。
- ◆ 肺炎球菌ワクチンを接種することで、体のなかに肺炎球菌への抵抗力（免疫）ができます。
- ◆ このワクチンは生後2カ月になってから接種し始めます。

- 1) 細菌性髄膜炎：鼻やのどにいる菌が血液に入り、脳を包んでいる膜に炎症をおこす重い病気です。耳が聞こえにくくなったり、手足が動きにくくなったりといった障害が残ったり、命にかかわることもあります。
- 2) 菌血症：細菌が血液のなかに入って高熱がでたりします。

○ 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。また、ワクチンに含まれない種類の肺炎球菌が原因の感染症にかかることはあります。



- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

2

ワクチンを
接種するときの
ポイント

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。

おこるかもしれない体の変化（副反応）

- ◆ 肺炎球菌ワクチンを接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
 - ◆ 注射したところだけでなく、熱がでたり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。
 - ◆ 乳児はいつもよりむずかたり、眠そうにしたりすることがあります。
 - ◆ きわめてまれにアナフィラキシー^{けつしやうばんげんしやうせいしはんびやう}、けいれん、血小板減少性紫斑病^{けつしょうばんげんしやうせいしはんびやう}などの重い病気にかかることもあるといわれています。
- 3) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんま疹がでたり呼吸が苦しくなったりします。
4) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

○ 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



3

接種後の
注意

もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
 - 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。
- ※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



Hib
ワクチンのはなし

シリーズ の ご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうちDPT-IPVワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知って置いていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



DPT-IPV
ワクチンのはなし



BCG
ワクチンのはなし



MR
ワクチンのはなし



日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

きょう

きょう 予防接種をうける
お子さんと、保護者のみなさまへ

DPT-IPV(百日せき・ジフテリア・破傷風・
ポリオ4種混合)ワクチンのはなし



#03

ノ ワ ク チ ン

きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#03 DPT-IPVワクチンのはなし

まとめて
接種できるワクチンも
あるんだな!



DPT-IPVワクチンって?

- ◆百日せきは、せきが長く続くことが特徴の病気ですが、小さなお子さんがかかると命にかかわることもあります。
- ◆ジフテリアは、口やのどに細菌がとりついて始まりますが、体中に広がると命にかかわることもある病気です。
- ◆破傷風は、土のなかにいる菌が傷口から入って始まり、病気が進むと体中の筋肉がかたくなってしまいます。重くなると息ができなくなり、命にかかわることもあります。
- ◆ポリオは、便を通じて感染する病気で、手や足が動かせなくなり、場合によっては一生続くことになってしまいます。
- ◆DPT-IPVワクチンを接種することで、体のなかに百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオへの抵抗力(免疫)ができます。
- ◆これらはうつりやすい病気で、免疫をつけることで、まわりの人たちに広がるのをふせぐことができます(破傷風をのぞきます)。
- ◆このワクチンは生後3カ月になってから接種し始めます。

○予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえばかかって、その多くは軽くてすみます。

2

ワクチンを接種するときのポイント

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



3

接種後の注意

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしていただきます。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

1

当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくと伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆DPT-IPVワクチンを接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたりすることがあります。
 - ◆熱がでたり、おなかをこわしたりするほか、鼻水やせき、ぶつぶつができたり、のどが赤くなる、はき気がすることもあります。
 - ◆きわめてまれにアナフィラキシー¹⁾、けいれん、血小板減少性紫斑病²⁾、脳炎などの重い病気にかかることがありますともいわれています。
けっしょうばんけんしょうせいしはんびょう
- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。
2) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまう。皮膚の下で出血して青あざができたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。

もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



Hib
ワクチンのはなし

シリーズ の ご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうちBCGワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



DPT-IPV
ワクチンのはなし



BCG
ワクチンのはなし



MR
ワクチンのはなし



日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

きょう 予防接種をうける お子さんと、保護者のみなさまへ BCG(結核)ワクチンのはなし



#04

きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#04 BCGワクチンのはなし

結核って今もある
病気なんだな！



- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておく伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。

1

当日は ココをチェック

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



BCGワクチンって？

- ◆BCGワクチンは、抵抗力(免疫)の弱い赤ちゃんが結核を発症したり、重い症状の結核になることを防ぐために接種します。
- ◆BCGワクチンを接種することで、体のなかに結核菌への抵抗力(免疫)ができ、赤ちゃんのうちは免疫をもち続けられます。
- ◆BCGワクチンは、二の腕の外側の真ん中あたりに2カ所、スタンプを押すように接種します。
- ◆このワクチンは1歳になるまでに接種することになっています。

○予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえかかって、その多くは軽くて済みます。

2

ワクチンを 接種するときの ポイント

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- お風呂には入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。

3

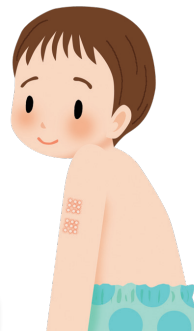
接種後の 注意

おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆BCGワクチンを接種した後、わきの下や足のつけ根など(リンパ節)がはれたり、全身に赤みがでたりすることがあります。
- ◆接種による普通の反応として、5～6週間くらい後、接種個所に赤いぶつぶつや、一部に小さなうみができます。その後、かさぶたになり、接種から3カ月後にはなおります。このような反応は特に心配いりませんが、まれに大きなうみになるなど、治療が必要になることもあります。
- ◆ただし、反応がでる時期には注意が必要です。これらの反応が接種後10日以内にでたら、すでに結核菌に感染している可能性があるため、すぐ医療機関に相談してください。
- ◆きわめてまれにアナフィラキシー¹⁾、骨炎、全身播種性BCG感染症²⁾がおこることがあるといわれています。

- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができたり呼吸が苦しくなったりします。
- 2) 全身播種性BCG感染症：ワクチンが原因で、重い症状の結核のような状態になってしまいます。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



Hib
ワクチンのはなし

シリーズ の ご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうちMRワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



DPT-IPV
ワクチンのはなし



BCG
ワクチンのはなし



MR
ワクチンのはなし



日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

きょう

きょう 予防接種をうける
お子さんと、保護者のみなさまへ

MR(麻しん・風しん混合)ワクチンのはなし



#05

ノ ワ ク チ ン

きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#05 MRワクチンのはなし

父親の協力も
大切なんだな！



MRワクチンって？

- ◆麻しん(M)・風しん(R)は、それぞれのウイルスを口や鼻などから吸いこむことで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。
- ◆麻しん(はしか)にかかると、熱やせき、鼻水がでたり、ぶつぶつがでたりします。まれですが、重くなると命にかかわることもあります。
- ◆風しんにかかると熱がでたり、ぶつぶつがでたりします。
- ◆MRワクチンを接種することで、体のなかに麻しん・風しんへの抵抗力(免疫)ができます。
- ◆このワクチンは1歳になってからと、小学校入学前1年間に接種します。

- 妊娠中に麻しんにかかると、流産や早産などの問題をおこすことがあります。
- 妊娠中に風しんにかかると、赤ちゃんに感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」にかかってしまうことがあります。
- 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえばかかって、その多くは軽くてすみます。

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。

- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

2

ワクチンを接種するときのポイント

1

当日は ココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくと伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



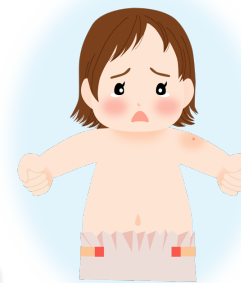
おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆MRワクチンを接種した後、熱がでたり、ぶつぶつがでたりすることがあります。また、接種個所が赤くなったり、はれたりすることもあります。

- ◆きわめてまれにアナフィラキシー¹⁾、けいれん、血小板減少性紫斑病²⁾、脳炎などの重い病気にかかることがあるともいわれています。

- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。
- 2) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

- 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



3

接種後の 注意

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。



Hib
ワクチンのはなし

シリーズ の ご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうち日本脳炎ワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



小児の肺炎球菌
ワクチンのはなし



DPT-IPV
ワクチンのはなし



BCG
ワクチンのはなし



MR
ワクチンのはなし



日本脳炎
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは
「予防接種と子どもの健康」
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん
ください。



医療機関名

キョウコ

きょう 予防接種をうける
お子さんと、保護者のみなさまへ

日本脳炎ワクチンのはなし

ノ ワクチン

#06



きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#06 日本脳炎ワクチンのはなし

父親も
ワクチンについて
知っとかない!



- お子さんの体調はよいか、熱があつたり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておく伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。

1

当日は ココをチェック



- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

2

ワクチンを 接種するときの ポイント

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。



予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にしておきましょう。

3

接種後の 注意

おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆日本脳炎ワクチンを接種した後、熱がでたり、せきや鼻水がでたりします。
 - ◆接種個所が赤くなることがあります。
 - ◆きわめてまれにアナフィラキシー¹⁾、急性散在性脳脊髄炎²⁾、けいれん、血小板減少性紫斑病³⁾、脳炎などの重い病気にかかることもあるといわれています。
- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。
2) 急性散在性脳脊髄炎：アレルギーにより脳や脊髄に炎症がおこる病気です。熱がでる、頭が重い、けいれんがおこる、意識がはっきりしないなどの症状がみられます。
3) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。